

経済学研究科 経済学専攻（博士課程前期課程）

平成 29 年 10 月 7 日

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
マクロ経済学	氏 名：	

1. 各選択問題に対し、もっとも適切なものを A, B, C, D から一つ選びなさい。(計 30 点)

- (1) 以下のうち、GDP に含まれないものを選びなさい。()
- A) 公共投資
B) 在庫品増加
C) 純輸出
D) 海外からの要素所得の純受取
- (2) 以下のうち、ストック変数を選びなさい。()
- A) 政府支出
B) 財政収支
C) 政府債務残高
D) 資本収支
- (3) 以下の記述のうち、正しくないものを選びなさい。()
- A) 貨幣の存在は、物々交換における「欲求の二重の一致」の制約を緩和する
B) ハイパワード・マネーは、流通現金と金融機関の中央銀行預け金の和として定義される
C) マネーストックは、信用乗数とハイパワード・マネーの積として表わすことができる
D) 信用乗数は、預金準備率(市中預金残高に占める中央銀行預け金の割合)が高いほど大きくなる
- (4) 伝統的なケインズ経済学の特徴として、当てはまらないものを選びなさい。()
- A) 価格や賃金が硬直的な場合、需要不足の均衡が存在すると考える
B) 短期の GDP の変動要因として、供給サイドよりも需要サイドの変化を重視する
C) 政府の介入を極力減らし、財政収支均衡を維持する必要性を強調する
D) 政府の積極的介入によって、経済変動を小さくできると考える
- (5) 以下のうち、金融政策の手段に含まれないものを選びなさい。()
- A) 税率の変更
B) 法定預金準備率の変更
C) 基準貸付利率の変更
D) 公開市場操作
- (6) 以下の記述のうち、正しくないものを選びなさい。()
- A) 政府支出拡大の GDP への影響は、限界消費性向が高いほど大きくなる
B) 政府支出拡大の GDP への影響は、貨幣需要が利子率に対して弾力的なほど小さくなる
C) 金融緩和の GDP への影響は、投資が利子率に対して弾力的なほど大きくなる
D) 「流動性のわな」があると金融緩和の効果が失われる

2. A, B, C の三つの部門からなる経済を考える。部門 A(<例>小麦農家)は生産要素を用いて原料(<例>小麦)を生産・販売する。部門 B(<例>製粉業者)は生産要素と部門 A から購入した原料を用いて中間財(<例>小麦粉)を生産・販売する。部門 C(<例>製パン業者)は生産要素と部門 B から購入した中間財を用いて最終財(<例>パン)を生産・販売する。この経済の経済活動が下表のようにまとめられるとき、以下の設問に答えなさい。(導出過程も明記すること。)

(計 15 点)

部門	売上金額	中間投入	付加価値
A	30	0	30
B	70	30	ア
C	100	70	イ

(1) 表中のア、イに当てはまる値をそれぞれ求めなさい。

ア =

イ =

(2) この経済の GDP を求めなさい。

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
マクロ経済学	氏 名：	

3. ある経済における GDP の需要項目のシェアと成長率が下表のようにまとめられるとき、以下の設問に答えなさい。(導出過程も明記すること。)
(計 10 点)

項目	消費	投資	政府支出	純輸出
シェア	0.6	0.1	0.25	0.05
成長率(%)	3	2	4	4

- (1) この経済の成長における消費の寄与度は何パーセントか。
- (2) この経済の成長率は何パーセントか。
4. 以下のマクロ経済モデルに関し、設問に答えなさい。ただし C は消費、 Y は GDP、 I は投資を表わし、政府・海外部門はないものとする。(計 20 点)

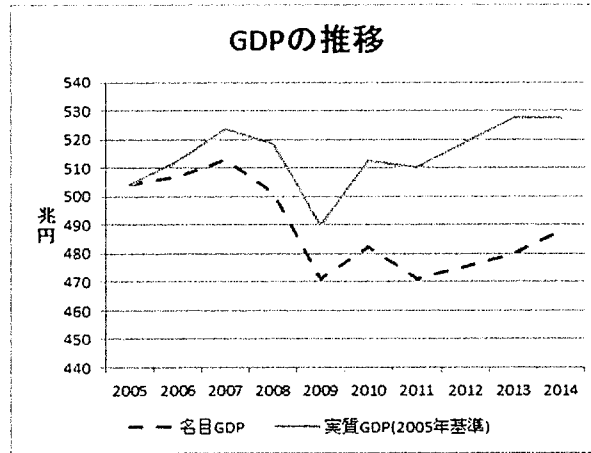
$$C = 0.8Y + 20 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$I = 20 \quad \dots \textcircled{2}$$

- (1) この経済の限界消費性向はいくらか。
- (2) 総需要の水準(AD)を Y に関する式で表わしなさい(導出過程も明記すること)。
- (3) 均衡における Y の値を求めなさい(導出過程も明記すること)。
- (4) 上記(3)で求めたマクロ経済の均衡をグラフで表示しなさい。

科目名	受験番号：	採点欄
マクロ経済学	氏名：	

5. 近年の日本の名目 GDP と実質 GDP（2005 年基準，固定基準年方式）の推移を表わした下図を参考にしつつ、以下の設問に答えなさい。（計 25 点）



(出所) 内閣府『国民経済計算』のデータより作成

(1) 年次 t の名目 GDP を Z_t ，実質 GDP を Y_t ，物価指数(GDP デフレーター÷100)を P_t とおくとき、 Y_t を Z_t 、 P_t に関する式で表わしなさい。

(2) 基準年($t = 2005$)以降、実質 GDP の方が名目 GDP を上回る傾向にあるのはなぜか、物価の動きと関連づけて論じなさい。

平成 30 年 2 月 16 日

科目名	受験番号：	採点欄
日本語	氏名：	

問題 以下の文を読んで、各問いの答えを回答用紙に記入しなさい。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

（出典：2017年8月17日 日本経済新聞朝刊 社説「一部改変した」）

問一、文中の傍線部（ア）～（コ）の読み仮名（ひらがな）を記入しなさい。

問二、文中の【】①～⑩にあてはまる最も適切な漢字を記入しなさい。

問三、文中の破線部（A）～（E）部分が本文中で意味すること（解答者の意見ではなく）を簡潔に説明しなさい。

問四、文中の二重線部（W）～（Z）を用いて、問題文とは異なる例文を作りなさい。（辞書にある例文を書き写すことは不可）

問五、文中の波線部（★）の具体策について、自分の考えを250～300字で論じなさい。

経済学研究科・経済学専攻（博士課程前期課程）

平成 30 年 2 月 16 日

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
ミクロ経済学	氏 名：	

【問 1】(35 点) 次の (1) ~ (2) について答えなさい。

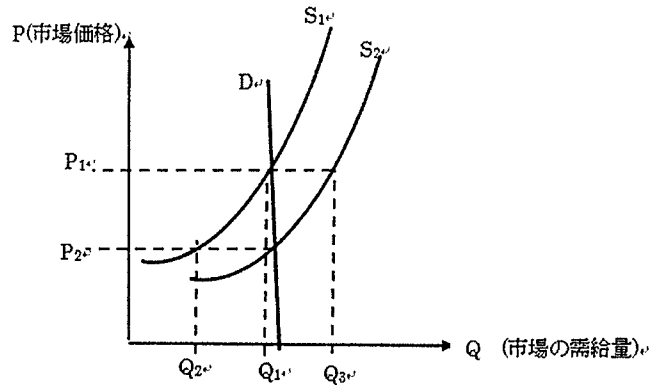
(1) 「トレード・オフ」、「プライス・テイカー」「内生変数」の 3 つの用語について経済学の文脈に沿いながら各 1~3 行で説明しなさい。例などを用いてもよい。

「トレード・オフ」

「プライス・テイカー」

「内生変数」

(2) 右の図は原油市場のような一次産品の市場を表したものである。この市場の需要関数 D がほとんど垂直で、供給関数が右上がりである場合について答えなさい。ただし、 S_1 は最初の供給関数、 S_2 は後の供給関数とし、供給関数は S_1 から S_2 にシフトするものとする。



この図について、次の文章の①~⑦に適切な言葉を、のちに示された語群から選び入れなさい。また④~⑥には図上の記号のうち適切なものを入れなさい。同じ言葉や記号を複数回使ってもよい。

この図のような需要関数は、価格が変化したときに需要量がどの程度変化するかを表した「(①)性」が(②)。このため、供給関数が上下に変動したとき、市場で決まる (③) はほとんど変化せず、価格によって均衡は調整される。原油の市場などでは、紛争などで供給量に変化することが見込まれると、これに反応して価格の乱高下がおこる。図では、供給関数が S_1 から S_2 にシフトしている状況を表しているが、このような供給関数のシフトは供給が (④) を表している。もし均衡価格がシフト以前のまま硬直的で変化しないならば、この市場には「(⑤)」が見込まれ、その大きさは (④) と (⑥) の差で表される。価格が市場の力に対して変化できるのであれば、価格は (⑦) で均衡となる。一般に市場で「(⑤)」が見込まれると、市場の均衡価格には (⑥) 方向への圧力がかかり価格は (⑦) がる。

(語群)

均衡価格	価格弾力	非常に大きい	交易の弾力	適度に反応する	右
交差弾力	右上	左	超過需要	上	増加したこと
減少したこと	不均衡価格	非常に小さい	法定価格	右下	代替の弾力
均等価格	下	平等供給	変化しないこと	均衡数量	超過供給

(解答欄)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ				

【問2】(30点) ある独占企業が市場で直面する需要関数と、この企業の長期の限界費用関数が以下のように与えられている。この市場について後の設問に答えなさい。

需要関数： $Q = 80 - 4P$

限界費用関数： $MC = 10$

- (1) この独占企業の直面する限界収入関数が $MR = 20 - 0.5Q$ で表されることがわかっている。
- (ア) この市場の(逆)需要関数、限界収入関数、限界費用関数をグラフに描きなさい。
- (イ) この市場での、独占企業の供給量と独占価格の値を求め、(ア)の図上にその点を示しなさい。
- (2) この市場が社会的に効率的な水準で生産される場合
- (ア) 企業はいくら供給しなければならないか、供給量を示しなさい。また、効率的な生産と価格を示す点を上の(1)の(ア)で描いたグラフ上に示しなさい。
- (イ) 社会的に効率的な点における社会的余剰の大きさを求めなさい。
- (3) (1)の(イ)で求めた独占の供給と(2)の(ア)で求めた社会的に効率的な供給を比較したとき、独占によって失われる(過少生産)産出量はいくらになるか求めなさい。過少生産によって失われる社会的余剰の大きさも求めなさい。

【問3】(35点) 政府が特定の商品に対する税(間接税)を導入しようと考えている。候補となっている財はAとBの2種類で政府はどちらか一方の市場に間接税を導入する。また、これらの財の供給関数は同一だが、需要関数が異なるとする。すなわち、間接税が導入される前のそれぞれの市場での需要と供給は：

A 財の市場 供給関数： $S = -5 + 0.5P$ 需要関数： $D = 10 - 0.25P$	B 財の市場 供給関数： $S = -5 + 0.5P$ 需要関数： $D = 20 - 0.5P$
---	--

これらの市場について下の設問に答えなさい。ただし、Dは需要量、Sは供給量、Pは市場価格を表す。

(1) 間接税が導入される以前の状況について、これらの市場の需要・供給を表すグラフを市場ごとに描き、均衡数量と均衡価格を求めこれをグラフに示しなさい。グラフの各軸が表す変数名、需要・供給関数の切片と傾きの値を示すこと。

(2) 今、これらの市場に間接税を導入しようとして政府が考えている。これについて(ア)、(イ)に答えなさい。

(ア) A 財の市場では、政府が財1単位につき12円の間接税を導入しようと考えている。間接税が導入されたのちのA財の供給関数は

$$S' = -11 + 0.5P$$

となる。間接税の導入された後の市場均衡を求めなさい。また、(1)の図に新しい供給関数と新しい市場均衡を描き入れなさい。

(イ) B 財の市場には、政府が財1単位につき24円の間接税を導入しようと考えている。間接税が導入されたのちのB財の供給関数は

$$S' = -17 + 0.5P$$

となる。間接税の導入された後の市場均衡を求めなさい。また、(1)の図に新しい供給関数と新しい市場均衡を描き入れなさい。

(3) それぞれの財の市場で間接税の導入された場合、

(ア) 上記(2)のようにA, Bそれぞれ市場で間接税が導入された場合、税収の大きさを表す領域を(2)で作成した図の上を示しなさい。

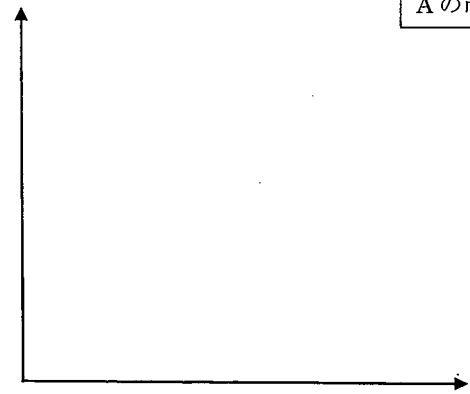
(イ) A, Bそれぞれ市場での税収を求め、両者が同額になることを示しなさい。

(4) (3)の結果をもとに、(ア)(イ)に答えなさい。

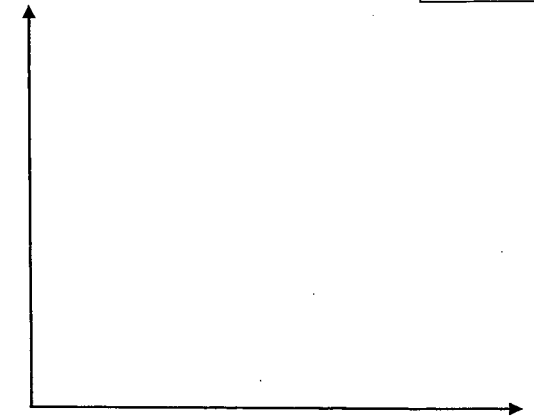
(ア) A, Bそれぞれ市場で上記(2)のように間接税が導入された場合の社会的余剰の損失(同額の税収を得るための社会的コスト)を求め、その大きさを表す領域を(2)で作図した図の上を示しなさい。

(イ) (ア)の結果をもとに、この政府はA財・B財どちらの市場に間接税を導入するか述べ、価格弾力性の概念を使い、なぜ2種類の財の市場のうちその市場が選ばれるのか、説明しなさい。(一般的な説明でよい。)

Aの市場の図



Bの市場の図



解答欄が足りない場合は裏面を使用すること